

2021年4月11日 主日礼拝 <召天者記念礼拝・洗礼式>

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌687番「まもなくかなたの」
(主イエスを愛することは)(御手の中で)

主の祈り

聖 書 出エジプト記15章22～27節 (P96)

音 楽 ①②坪井師夫妻
③ NEW LIFE 井澤豊牧師夫妻・磯野姉(V)

メッセージ 「マラからエリムへの旅」
佐藤彰牧師(V) ①②坪井副牧師 ③大川主任牧師
(福島第一聖書バプテスト教会)

賛 美 「荒野の路を旅するわれを」(リバイバル聖歌299番) 献金
頌 栄 「父・御子・御霊」(聖歌383番) アーメン
祝 禱

「わたしはよみがえりであり、命である。
わたしを信じる者は、たとひ死んでも生きる。」
(ヨハネ十一の二十五)

【大和ニュース】

☆今日は春の「召天者記念礼拝」。故人を偲び、天国のあふれる恵みを、
共に味わい、復活の主を賛美しましょう。ハッピーイースター!!

☆祝・受洗! ①松本姉(ナオミ会)②荒谷さん(小2)③富樫兄(モーセ会)

・ 本日 SS 主任会(13時・森チャペル) ・J.plus(青年・学生会・中高生)

* 今週も祈禱会を大切に! ①水曜夜7:30 ②木曜朝10:30 説教は久保田副牧師。
証詞は菅原兄(3月に神学校を卒業されました。)

* J+passion Night は、金曜夜8時(zoom)。説教:朝岡師、音楽:中山師。

石の枕

先月「3・11の10周年記念礼拝」をしたばかりであるが、福島佐藤彰牧師のメッセージが、あまりにすばらしいので、録画ではあるが、ご一緒に視聴することになった。牧師からのイースタープレゼントでもある。

タイトルは「生きているだけですばらしい」と予定していたが、佐藤先生にならって『マラからエリムへ』とした。私たちの使っている口語訳聖書では、「メラ」となっているが同じこと。苦しみとか苦々しいの意味がある。

何十年も前に、今の三畑元長老様のお父さん義雄長老とイスラエル旅行をしたとき、すでに召天されていた君江夫人の写真をもって、「エリム」を訪れた。思い出しても懐かしい光景だ。お二人とも、この教会の創立者の功労者である。天国での再会が楽しみである。

昨日は、相模メモリアル霊園の大和教会墓地で、10人の納骨式が行われた。全員天国での再会を確信できるのは、まことに幸せなことである。主イエス様は、天国に住居まで用意くださっておられる、と言われたが、これまたラッキーなことである。「私の父の家には、住まいがたくさんあります」(ヨハネ14の2)。

私は、天国では、聖書に登場する人物に会えるのを楽しみにして生きている。勿論イエス様には、平伏して礼拝して、絶対にハグ(抱きつく)するつもり。すでに天に召された聖徒たち、教会の兄弟姉妹たちとお会いできるのを、首を長くして待っている。

イエス様の十字架のおかげで救われ、罪ゆるされ、神の子とされ、もし心臓が止まることがあっても、天使たちにかかえられて、永遠の天国へ入れていただける。こんな幸せなことはない。もう苦しみも、悲しいことも、痛みも、貧しさも、生活苦も、ケンカも、イジメも、悪口もない天国生活が待っている。

私は13才のときから、この世界を待ち望んで生きてきた。しかし、世捨て人ではない。生かされている意味を深く自覚し、なすべきことをしっかりと実践してからのことである。まさに、最高の旅である。ご一緒に楽しみましょう。

Enjoy the great adventure!! 主と共に歩む人生は最高ですね!!

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ルカ13~16章 Bコース:サムエル記上7~24章